

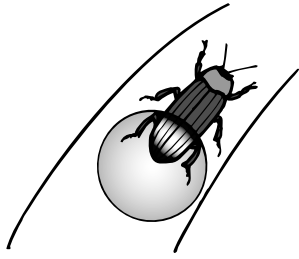
られないのでは。また、締結後出た問題点は、県に意見添付したか。

(答)市民生活部長 説明会をとおして、事業所が地域と市の要望を受け入れ対応を計ったので締結した。産廃事業所の許可は県が行うが、その際意見照会がある。締結後に出された問題は、地元の反対の意向、市は説明会を求め、必要な要求はしていると書いてある。

介護型療養病床の削減問題

(問) 国は平成23年度までにベッドの廃止、再編をするとしている。(吉川市84床) 内容と影響は。

(答)市長 現在、県が病院の意向を調査し夏には結果が出る。その結果を踏まえ、来年度からの事業計画に反映させる。



武蔵野線新駅は

本当に必要か

安田 真也

(問) 「新駅は必要ない」との声が多く聞かれるが、市は何を根拠に市民が切望していると考えているのか。

(答)市長 新駅は、第四次総合振興計画と都市計画マスタープランに、武蔵地区と一体となった複合的な都市機能形成するため、必要と位置づけられている。また、市民意識調査においても「住み心地に調査における「住み心地に関する回答」に「鉄道やバスの便が良くない」との理由が上位を占めている。

(問) 根拠は第四次総合振興計画・マスタープラン・市民意識調査であり、賛成する市民も多いとの答弁でしたが、平成19年度吉川市民意識調査によると、新駅関連の自由意見の中身は「新駅は必要ない」「他にお金をまわすべき」との意見がほとんどだが。

(答)市長 今ならば吉川市負担

分約14億7千万円で新駅ができる。いろいろな議論があるとは思いますが、やるべきこととやるべきでないの区別を付けることがこれからの発展に繋がる。住民意見も多々あるが、私自身新駅設置も含めて選挙公約として訴え、ご支持をいただきました。新駅設置をすることによって将来的に市の発展に効果があるものと確信しております。

(問) 新駅に関して以前より議論があつたはずなのに、市民意識調査には自由意見の箇所はあつても、新駅の是非についての調査項目が無いのは意図的か。

(答)政策室長 意図的に外したというわけではない。

住民投票で新駅設置是非を問うべし

(問) 新駅が将来の吉川を背負ったものと考えらるなら、遺憾を残さないために、住民投票をすべきでは。

(答)市長 市ホームページ、広報、公聴会、説明会等で意見を聞いているので住民投票の必要は無い。

都市計画税の導入は

本当に必要なのか？

稲垣 茂行

(問) 「都市計画税」をなぜ導入するのか・本当に必要なのか。同時に、導入によって市はどう変わるのか、また、さらなる行財政改革を、どのように進めていくのかについてお伺いしたい。

導入の背景、根拠については当然、中期の財政予測に基づいた試算から説明をすべきと考える。行財政改革についても、内容と数値目標、優先順位等を明らかにする必要はある。

事業については、具体的に何をやるのかを示していただきたい。

(答)市長 導入の背景は「住みよいまちづくり」へ向けての必要性と財政基盤強化のため都市計画税が必要と判断した。

事業については、今まで一般財源で手当てしてきた都市計画事業を、他の分野に移す



JR武蔵野線

ことが可能となり、これまで積み残してきた教育施設や地域の課題を進めていきたい。

(答)政策室長 中期の財政予測は、今後の事業の実施計画が確定しないと、立てられない。国の制度移管になっても変わる可能性がある。総合振興計画の実現に確実性を持たせるための実施計画なので、3カ年計画でやっている。

(答)総務部長 税金については大幅な変化はないと思うが、国の動向、交付税、公債費、財政調整基金等の変動で変化するため、長期予測は難しい。(答)副市長 歳入歳出が合致する形での、予算組みは難しいという説明している。今後予定している事業に、ど